

科目名 (科目番号)	看護倫理 (074331)	教員名 吉田礼子、尾崎道江 山崎智代、田所夕子 ほか	学科等	看護	必修	履修年次	3
			曜日・時限等	時間割表参照		単位数	1
			オフィスアワー			A210研究室	
授業概要	看護倫理の基盤となる倫理原則や諸概念を学び、人間らしさ、人権擁護や知る権利、生活の質の向上などの側面から看護実践における倫理的問題へのアプローチや創造的な問題解決方法を考える。倫理的行動がとれるようになるためには倫理的感性を磨くことが不可欠である。よってグループワークやディスカッション、課題学習を取り入れ、学びのプロセスで倫理的感性を体得することに重きを置く。 関係する垂直軸:人間の理解、看護、自己研鑽						
準備学習	毎回の授業について少なくとも1時間程度の予習・復習をすること						
授業計画	回	授業項目	到達目標・学習内容				
	1	看護倫理の基礎①	到達目標:看護倫理についての概要を理解する。 学習内容:倫理とは何か、そして、看護倫理とは何か、看護倫理の必要性、看護師の価値感などについて学習する。				
	2	看護倫理の歴史的推移	到達目標:看護倫理の歴史的推移を理解する。 学習内容:①徳の倫理オンリーの時代、②徳の倫理から原則の倫理、③21世紀の現在へと変化していった看護倫理の歴史的推移を学習する。				
	3	看護倫理のアプローチ	到達目標:さまざまな看護倫理の考え方について理解する。 学習内容:徳の倫理とは何か、原則の倫理とは何か、ケアの倫理とは何かを学習し、それぞれの看護倫理のアプローチと限界を知る。				
	4	倫理的問題、対応策の検討方法	到達目標:看護実践における倫理的問題、解決方法について理解する 学習内容:事例をもとに意思決定方法としての4ステップモデル、臨床倫理の4分割法について学習する。				
	5	倫理的問題の検討① グループワーク	到達目標:事例検討を通し、看護実践における倫理的問題について考える 学習内容:事例検討(自己体験=事前課題)を通し、看護実践における倫理的問題について考えを深める。				
	6	倫理的問題の検討② グループワーク	到達目標:事例検討を通し、看護実践における倫理的問題、解決方法について考える 学習内容:事例検討(自己体験=事前課題)を通し、看護実践における倫理的問題に関する意思決定方法について考えを深める				
	7	倫理的問題の検討① 発表・討議	到達目標:看護実践における倫理的問題、解決方法について理解を深める。 学習内容:グループごとの事例検討結果の発表・討議を通し、看護実践における倫理的問題、解決方法について考察する。				
	8	看護倫理とは	到達目標:看護倫理について総合的に理解する。 学習内容:看護倫理について履修したことを振り返り学習を深める。				
成績評価の方法・基準	評価表に基づくグループ学習の取り組み(含む課題レポート)50%+試験50%						
教科書	看護倫理 よい看護・よい看護師への道しるべ	小西恵美子			南江堂		
参考図書	必要時紹介する。						
教員からのメッセージ	どんなに優れた知識・技術を用いて看護を提供しても、相手を尊重した態度が伴っていなければ看護は成立しません。すなわち看護は倫理的行動がとれることが前提です。そのため、学生の皆さん自身が授業中も倫理的行動がとれることを重要視します。例えば、約束を守る、遅刻・欠席をしない誠実さ、相手を尊重する態度など、授業を通して倫理的な態度を示して下さい。各自の出会った倫理的問題についてグループ検討・発表を行うとともに、個人でも分析・検討してレポートにまとめてもらいます。レポートは授業後にコメントを付して返却します。						